

15 森田嘉一郎校長(第六代)新任

昭和三年八月三十一日付

16 学事奨励会

学事奨励会というのは、後援会のような性格のもので、当時月島全島にあった。月島小学校学事奨励会についての唯一の文書は、昭和四年六月設立、会長に内田雅裕氏、会員数は四八六名と記されている。

(59頁)

17 仮校舎建設から鉄筋三階建現校舎建築

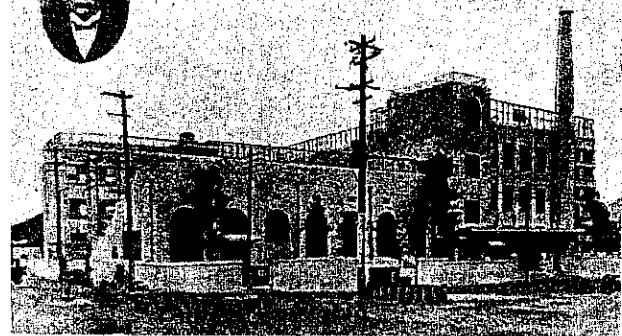
築へ

昭和四年十二月二十五日、焼跡に新校舎建築のため、新佃東町に仮校舎を建て、十九学級九〇六名を収容した。

鉄筋三階建新校舎は、昭和五年六月十五日着工、昭和六年三月三十一日に竣工した、総工費三三三・四七八円、銭高組東京支店が工事に当たり、普通教室三〇、特別教室五、屋内体操場一、その他付属施設を備えた現校舎の建築をみた。(付属施設に避雷針二基もあった。)

仮校舎より四月七日に復帰し、新築落成式を五月二十六日に行ない、その日を創立記念日とした。

18 白鳥千代三校長(第七代)新任
昭和十年二月一日付



○内 森田校長 現校舎(建築当時)



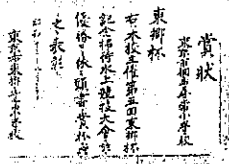
六代 森田校長



七代 白鳥校長

19 水泳月島の名 知れ渡る
月島小学校児童の水泳が秀で、水泳月島の名が広く都内に知れ渡るようになった。

昭和十三年三月二十二日発行の「月島校報」第二号の松村和夫訓導の「水泳部活動の実際」および翌十四年五月発行の第三号「水泳部便り」によると、「水泳部が示した水上成績は前古未曾有のもの」と記録され、輝かしい成績を伝えている。



○京橋区水上大会(八月二十日)優勝旗
○浅草区浅草校大会優勝旗
○深川区臨海校大会優勝旗(男子)および、豊山中学
校大会(九月十二日)優勝旗(以上校報二号より)

三号より、特筆するものとして、

(1) 八月二十八日 全国国民皆泳大会少年部で優勝

これは、ラジオで全国放送された。

(2) 宿望の東郷杯獲得(八月三十日)

(3) 五月四日、五日、神宮水上大会男子尋常科の部で優勝

10 及川英雄校長(第八代)新任
昭和十三年七月十九日付

八代 校長 及川

21 校名変更
昭和十六年四月一日、

東京府東京市月島小学校
に、また、昭和十八年七月一日、東京都月島国民学校と改称された。

22 戦時学童集団疎開 — 埼玉県秩父郡へ —

昭和十九年八月三十一日、本土への空襲次第に激烈となったので、防衛司令部の指令に基づき、教師および学童約三百六十名は、埼玉県秩父郡美野町皆野の寺院八ヶ所ほかに集団疎開した。学校、家庭が手を取り合いながらも未だかつて経験しない不安と多忙で、毎日を通した。

そして、昭和二〇年八月の終戦を迎え、十月三十日皆野町の方々に見送られ疎開地から帰校した。

23 月島幼稚園、墨田工業高校月島分校が一時、本校で授業。
月島幼稚園は、戦時中一時休園していたが、昭和二十一年十月十一日、本校で再開し保育を続けたが、昭和二十五年五月十二日